議事	テーマ	発言要旨	発言者
新秋田元気創造プランにおける施策の方向性について	新しい人の流れの創出	中高年の富裕層が移住すれば、そこから雇用が生まれるなど好循環が期待できるので、中高年の富裕層の移住に力を入れるべきではないか。	武石一之委員
		関係人口づくりにおいては、地域や課題に応じてターゲットを絞るべきではないか。	竹内健二委員
		地域づくりの核は、人と人のつながり。秋田の豊かな食文化等を活用したオンラインイベントの開催は、全国の方々とつながることができるので、関係人口創出の可能性が高いのではないか。	能登祐子委員
		一度都会に出ても、本県に戻って来る人も一定数いるので、そのような人の掘り起こしが大切である。	山名裕子委員
	結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現	家の概念や、結婚自体の概念をがらっと変えないと、なかなか結婚は増えないのではないか。	山名裕子委員
		結婚支援のイベントについては、婚活であることを前面に出すとハードルが高く感じられるため、気軽に参加できるようにすることが重要である。	武田成史委員
		県がボランティア休暇を設定する企業を支援して、ボランティア休暇を出会いの場につなげることはできないだろうか。	照井昌子委員
		県に登録されている結婚サポーターをもっと活用し、一人一人の状況を踏まえたマッチングに取り組めばいいのではないか。	武田成史委員
		子育て中は、リモートワークによる在宅勤務が認められるようになればいいのではないか。	能登祐子委員
		結婚支援のイベントへの補助ではなく、結婚させた方に対して支援するべきではないか。	武田成史委員
		コロナ禍にあっても、外に出て母親同士が交流できる機会を設けるべきである。	加藤未希委員

議事	テーマ	発言要旨	発言者
新秋田元気創造プランにおける施策の方向性について	結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現	子育てに関するイベントやサークル等の様々な情報を、出産する病院や診療所で得られるようにするべきではないか。	加藤未希委員
		産後直後の父親は実感がわかず、母親の不満につながることもあるため、家族で子どもを育てていくという意識付けが大事である。	須田紘彬部会長
		子育てしながら働くためには、企業のトップや管理職の理解が重要である。	加藤未希委員 山名裕子委員
		子育て中の従業員がやめないように対応するための企業の取組・事業に対して支援をするべきではないか。	竹内健二委員
	女性や若者が活躍できる社会の実現	生き生きと働く女性の情報を発信し、いいイメージをもってもらうことが大切である。	加藤未希委員
		若者の最初の一步を踏み出すところを支援することが重要ではないか。	能登祐子委員
		チャレンジ精神のある若者をどのように増やしていくかは、地域活動において非常に重要である。何かにチャレンジしたい人たちを地域としてバックアップしていく施策が重要ではないか。	須田紘彬部会長
	変革する時代に対応した地域社会の構築	男女だけではないパートナーシップやファミリーシップを制度としてどのように認めるか考える必要があるのではないか。	山名裕子委員
		NPOは志のある人たちが一生懸命頑張るが、高齢化と後継者不足が課題。一方で若い方たちは、仕事も休めず趣味もできないのにNPOで頑張れというのはハードルが高い。	須田紘彬部会長
	脱炭素の実現を目指す地域社会の形成	幼稚園児、保育園児にもできる簡単なことから環境教育を進めていただきたい。	照井昌子委員
		県民みんなで環境問題に取り組むという旗印があれば、環境活動がやりやすくなるのではないか。	照井昌子委員
		ペーパーレスによるごみの削減やリモートワークによる移動の減少など、デジタル化の推進により脱炭素が図られるのではないか。	須田紘彬部会長

議事	テーマ	発言要旨	発言者
新秋田元気創造プランにおける施策の方向性について	脱炭素の実現を目指す地域社会の形成	カーボンオフセットにおいて、国や海外から金銭を取得し、地域に還元することはできないだろうか。	須田紘彬部会長
	行政サービスの向上	I C Tで業務効率化するためには、B P Rが必要であり、本当に必要な業務が見直す必要があるのではないかな。	武石一之委員
		外部の方と、業務の流れ含めてすべて再構築した上で、どこにデジタル化を当てはめるかを検討していくべきではないかな。	竹内健二委員
		デジタルが苦手な人が、デジタル・ガバメントから取り残されないように対策が必要ではないかな。	須田紘彬部会長 山名裕子委員
		デジタル・ガバメントを推進するためには、マイナンバーカードを浸透させるための啓発活動を増やすべきではないかな。	武石一之委員
		他部会への提案	起業者一人一人に寄り添った経営塾のようなサービス支援や、法務トラブルに対するリスクヘッジのための支援が必要なのではないかな。
		子どもの教育に多様性を認め、学校に行けない子どもたちに対する教育に支援をすればいいのではないかな。	竹内健二委員
		カーボンニュートラルを産業として促進する一方で、景観や自然環境の保護のために規制する施策も併せて考える必要があるのではないかな。	竹内健二委員
		一から起業するのは大変なだけでなく、結果にも結びつきにくいいため、既存企業の社内ベンチャーのような形の起業を支援するべきではないかな。	須田紘彬部会長
		カーボンニュートラルを実現しないとサプライチェーンの中で取引ができなくなるとの話が出てきており、県内の中小企業にとっても死活問題となってくるため、産業の観点で支援をしていく必要があるのではないかな。	竹内健二委員